

様式3 まとめ(自己評価および学校関係者評価)

坂戸市学校評価システム

令和2年度 学校評価
自己評価及び学校関係者評価

学校名	坂戸市立住吉中学校
実施日	令和3年3月1日

〇「自己評価」及び「学校関係者評価委員評価」の欄には、A～Dを記入してください。

評価 A:よくできている B:概ねできている C:あまりできていない D:できていない

〇「自己評価についての評価の説明及び学校の考え」の欄には、理由及び自己評価の結果をどのように受け止めているかを記入ください。

領域	NO	評価項目	自己評価	自己評価についての評価の説明及び学校の考え	学校関係者評価	学校関係者評価委員会の説明
組織・運営	1	学校は、特色ある学校づくりを目指し、組織的・計画的に取り組んでいる。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で保護者等を集めることはできないが、学校だより及び学校ホームページを通して、保護者に説明している。 ・今年度は、特色ある学校づくりの実施計画はされていたが、コロナ禍で十分に実施できていない。そのような中で、できることは確実にやっている。 ・今年度、集会などができない中で、学校だよりなどを通して、職員、保護者、子供たちに伝えることができている。 ・学校だよりを中心に、学校行事、生徒の様子など発信している。 ・臨時休業もあったが、計画的に授業を進められるようにしていた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校広報や行事を通して、学校が目指す方向性が伝わってきます。
	2	学校は、災害、事故やトラブルに対して、組織的に迅速に対応している。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・職員及び生徒の緊急を要する事態について、報告・連絡・相談が徹底されている。 ・トラブル等、組織的に対応しているが学年によるずれを感じる時もある。 ・大雨の際や、生徒の怪我の際、職員がよく協力していた。 ・豪雨での一斉に車での下校の際、帰す、帰さないの判断など難しい所ですが、状況に応じて考えていきたいと思う。 ・事故やトラブル等、未然に防ぐために研修を行ったり、整備されている。 ・不審者への対応ができていない。(避難訓練など) ・保護者対応が担任と管理職になっているので、学年で組織的な対応ができるようにする。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスに対しても、最大限の対応をしていること。学校が目指すリスク管理が対応を通して理解できました。 ・夏の大雨で道路が冠水した時の保護者迎えの時、大混乱であったと聞きました。不測の事態に対するシミュレーションは大事と感じました。
	3	学校は、働き方改革を意識して、職員の勤務体制の改善を図っている。(共通項目)	B	<ul style="list-style-type: none"> ・出勤退勤記録簿等で職員の勤務時間の把握がされているが、時間外勤務の時間については改善されていない。改善策としては、部活動終了時刻を早めて、最終下校時刻を今よりも早くする。水曜日の部活動は朝練習もなくす。 ・職員会議については、企画委員会の時間が有効にされていて、ほぼ、勤務時間内に終了できていることが素晴らしい。 ・緊急事態宣言下で、部活動が中止となってから、残業をしている人もいるが、教職員の時間外勤務が少なくなっている。 ・ノー残業デーを設定してもよい。 ・休暇はあまり取れていない。 ・「ふれあいデー」を年間計画に明記し、放課後に行事や様々な活動を入れない。 ・定期テストの日に計画的な年休を取得できるようにする。 ・働きやすい環境であると思う。 ・コロナ禍ということもあり、行事が精選されている。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学校という特殊な勤務形態の中と、コロナ禍という緊急事態の中で、行事の精選など工夫がされている。

教育課程・学習	4	<p>教員は、学力向上に向け、児童生徒にわかりやすく、工夫した授業をしている。 (市共通項目)</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・「主体的・対話的な学び」の実践を全教員で進めていきたい。今年は授業時数が少ないため、先生方の気持ちはあるが、苦労されたと思う。 ・話し合い等は難しいが、工夫した授業を考えている。 ・空いている時間に授業を見に行っている。 ・今年度は、コロナ禍の影響で、学び合いの機会が減った。 ・工夫したいが、ICT機器が足りない。 ・制限がある中、工夫、改善をしている。 ・授業改善をしていると思うが、より研修を深め、さらに「知識や技能を活用する学習の充実」を図っていきたい。 ・各教科、工夫しながら生徒たちにとって分かりやすい授業を展開している。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒に出す課題を通して、授業等で何を学ばせたいのか、理解できることが多々あります。
	5	<p>教員は、豊かな心を育む授業の充実を図っている。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳の授業を要に、全教職員が子供たちに豊かな心の育みを行っている。 ・今年度は、意識を高めて道徳の授業を行えている。(学年内の連携もできている) ・学校での取組である、全員での授業ができていない学年がある。 ・道徳の授業など、かなり意識的に、しっかりと行えている。 ・道徳の授業で工夫をしたり、情報交換しながら進めている。職員室内で、道徳の授業についての話し合いが行われている。 ・生徒一人一人にとって、教員が大切にしている個に応じた指導ができていると感じる。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・おそらく、多少は生徒間でいろいろあると思いますが、生徒たちの笑顔が多いので、心への教育も図れていると思っています。
	6	<p>児童生徒は、落ち着いた態度で生活し、授業に取組んでいる。 (市共通項目)</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初と比較して、進んで挨拶をする生徒が増えている。先生方の地道な指導の成果だと感じる。 ・挨拶はよくしている方ではあるが、しない生徒がいることも実態である。 ・挨拶は、やはりコロナウイルス影響もあり、大きな声でなどの指導の徹底があまりできなかった。 ・挨拶をこちらからしないといけない生徒や、声の返ってこない生徒もいる。 ・学年によって差はあるが、学校全体としては、挨拶等しっかりとしてくれる生徒が多い。(学年が上がるにつれて、挨拶がよくできている) ・声の小さい時はあるが、よく発表していると思う。 ・忘れ物等は減ってきたように思うが、まだまだ忘れ物や宿題に課題がある。 ・授業に臨むための準備を徹底させる必要がある。 ・授業で教科連絡をしているが、係の生徒が確認を含め、もう一度、教科担当に聞く習慣をつけさせたい。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参観や行事より、生徒たちの明るい挨拶が多く、学校全体が落ち着いている現れと思っています。
資質の向上	7	<p>学校は、体罰や交通事故等の教職員事故や不祥事根絶のために意欲的に取り組んでいる。 (市共通項目)</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・不祥事防止計画が年度当初に策定されており、共通理解を図る時間も十分に取られている。 ・倫理確立委員会等が定期的に開催されていて、情報交換を行っている。 ・倫理確立委員会を定期的に行い、不祥事防止に努めている。 ・教職員不祥事事故防止研修を通して、しっかりと学べた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・世間一般的に、教職員不祥事があとを絶たない。また、体罰は絶対にあってはならない。信頼関係が揺らぎかねない重要な事態であると捉えている。
	8	<p>本校の教員は、児童生徒一人一人を認め大切にする態度で接している。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動の指導中の教員の言葉遣いについて、やや改めたほうが良いと思われる時がある。 ・部活動以外では、生徒に寄り添って、個に応じた対応がなされている。 ・アンケートを行ったり、二者面談等も行い、傾聴の姿勢で行ったりしているが、言葉遣いには配慮が必要。 ・一人一人を大切にしていこうと共通理解のもと、進められている。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学級通信から、担当の先生が一人ひとりに向き合う姿勢が、よく伝わってきています。きっと生徒たちにも伝わっていると思います。 ・部活動について、顧問と保護者間の信頼関係を構築する上でも必要な説明をお願いしたい。

学習環境	9	学校は、特別支援教育体制の充実を図っている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育についての校内研修が行われた。その際、外部から専門の先生を講師として招聘されたことは良かったと思う。 ・特別支援学級と通常学級との交流は図れている。 ・まだ、時間がかかると思うが、教室環境や授業の進め方などについて、先生方に受け入れてもらえるようにアプローチしていくことが必要だと感じる。 ・就学相談が必要な生徒や保護者に、特別支援の理解が進まないと感じます。3年生になって不登校や悩みが深くなっているように思う。 ・教室前黒板に余計なプリント等が貼ってあるクラスがあり、ユニバーサルデザインの視点で見ると不適切。 	B	・特別支援学級の生徒が、通常の学級の中で、頑張っている姿が見られる。
	10	学校は、安心安全で機能的な教育環境整備に努めている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・安全点検を定期的に行い、すばやく修繕も行われている。 ・定期的に安全点検が行われ、修理が進んでいる。 ・清掃担当の先生方中心に整備されている。 	B	・校舎等の老朽化は仕方がないので、生徒等の安全確保の観点から、計画的に整備していただきたい。
家庭・地域との連携	11	学校は開かれた学校づくりを目指し、家庭・地域社会に積極的に情報提供を行っている。 (市共通項目)	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校ホームページが開設され、再開された。 ・マメールの活用により、情報が保護者に瞬時に伝わるようになった。 ・学校ホームページがよく更新されている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校ホームページもしっかり更新されており、また、分かりやすいメールを通して情報公表が速やかで、安心していられます。 ・学校ホームページの活用に大いに期待しています。また、協力させていただけたらと思います。
	12	学校は、積極的に地域の人材を教育活動に活用し、家庭・地域と連携し子どもの問題解決を図っている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・性教育の集中授業を地元の産婦人科の助産師さんにしていただけたのは、良かった。 ・教育実習生を実習が終わった後にボランティアとして授業補助に来ていただいたのは良かった。 ・コロナ禍もあり、地域人材の活用はできなかった。来年度はもっと地域と協力をしていきたい。 ・教員だけでなく、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーなどとも連携しながら進められている。 ・ケース会議等、組織的に行えている。 	B	・PTA活動や学校としても、地域への対応はよく行えています。
小中一貫教育	13	学校は、小中一貫教育の視点にたった教育活動を推進している。 (市共通項目)	B	<ul style="list-style-type: none"> ・小中連携については年度当初には計画されていたが、コロナ禍の影響でできなかったのは残念。しかし、代案を考えて、実施の方向に向かっているため、しっかりと小中で情報交換ができていると考えられる。 ・スタディーウィークの設定、「ノーテレビ・ノーゲームデー」が設定されている。 ・「ノーテレビ・ノーゲームデー」がテスト前になっていないことがあり、中学生の実情に適していない設定となっているので、工夫されればよいと思う。 ・小中連絡会の内容を精選し、意義深いものにしていく。 ・地理的な問題もあるが、東部4校との連携は行われているが、なかなか定着しない。 ・小学校とのつながりを大切に、中学校の情報提供も行っていると思う。 	A	・3つの小学校から進学してくるため、大変なこともあるかと思っています。来年度、コロナ禍明けには、充実した小中連携を図っていただきたい。